学校番号	3003

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　新編　言語文化」　（大修館書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることを目標にしています。

古典の言葉と現代の言葉とのつながりや伝統・文化について理解し、幅広い知識や教養をもち、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるようにさまざまな教材を用いて授業を展開します。「言語文化」では特に、文化としての言語、多様な言語芸術や芸能などの価値に重点を置き、理解したり尊重したりすることにとどまることなく、自らが継承・発展させていく担い手としての自覚をもつことをめざしています。

語彙を豊かにすることや、文語のきまりを理解するために定期的に小テストを行います。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ことばと出会う ［教材］ 言葉の森を育てよう	a:言葉が生まれる理由について本文をもとに考察を深めている b[読]:随想の特徴を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 c:言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	日本語の特色や独自性を知り、言語感覚を磨く。 ［教材］ 漢字と仮名の使い分け	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしようとする。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c:日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	古文に親しむ。 ［教材］ いろは歌 古文冒頭選	a:時間の経過などによる文字の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めている。 b[書]:いろは歌を順番通りに書ける。 ［読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。また、古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	古文を楽しむ ［教材］ 十二の子の文字 児のそら寝	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:・作品に興味をもち、物語の内容を積極的に読み取ろうとしている。漢字の読みの多様性について関心を深めようとしている。また、登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動

二学期	随筆を楽しむ ［教材］ 徒然草 枕草子 （言語文化の窓） 随筆文学の広がり	a：自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。	定期考査 小テスト 観察	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	歌物語の特徴と読み解き方を学ぶ。 ［教材］ 伊勢物語 （参考） 恋愛と結婚	a：話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ［教材］ 訓読のきまり 格言 再読文字	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[書]：漢文のきまりについて的確に理解している。 c：これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。また日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている、	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	故事成語の由来となった話を学ぶ ［教材］ 五十歩百歩 蛇足 借虎威	a：訓読のきまりを理解している。 b[読]：文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 音読 振り返り活動
	現代に受け継がれる古人の教えを学ぶ ［教材］ 論語　学問のすすめ 社会に生きる （言語文化の窓） 『論語』と現代	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：漢文のきまりについて的確に理解している。 ［読］：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文を読むことに興味をもち、『論語』と現代との関わりについて考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
三学期	古典を題材にした近代文学を通して、言語文化を受け継ぐ ［教材］ 羅生門 （参考）今昔物語集	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。また、我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：場面ごとに状況によって変化していく下人の心情を的確に捉えた上で、作品のテーマについて考えている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動

	（言語文化の窓） 芥川龍之介と「羅生門」	また、作品の展開を把握しながら、各場面の比喩表現や情景描写の特徴について理解を深め、説明している。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。また、古典からの翻案やさまざまな翻案作品との比べ読みについて興味をもち、新たな読書に対する意欲をもとうとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　10　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　45　）時間